

6-3 城北地域のまちづくりのテーマ・方針

◆まちづくりのテーマ

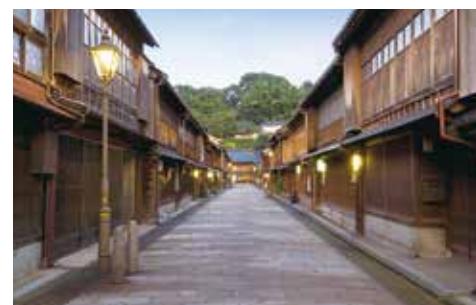
田園や里山の自然に抱かれた良好な住宅地と 歴史的な街並みが調和するまち

◆主なまちづくりの方針

- ◆ひがし茶屋街や卯辰山山麓寺院群などの歴史文化資産を保全しながら、適正な土地利用の誘導により、良好な住環境を維持していきます。
- ◆地域拠点の東金沢駅周辺では、交通結節点としての利便性を活かして、様々な交流と賑わいを創出する都市機能の誘導を図ります。
- ◆外環状道路(海側幹線)の整備を着実に進めることで、都市内道路ネットワークの構築と緊急輸送道路機能の強化を図ります。
- ◆田園地域・中山間地域では、農林業を支える集落環境の維持や再生につながる取組を進めます。
- ◆卯辰山丘陵の斜面緑地及び東部丘陵などは、良好な住宅地の背景として自然環境を保全します。

土地利用の方針

- ひがし茶屋街や卯辰山山麓寺院群などの歴史文化資産を保全しながら、適正な土地利用の誘導により、良好な住環境を維持していきます。
- 地域住民との協働による地区計画やまちづくり協定の活用により、きめ細かな土地利用を推進し、良好な住環境の保全、創出を図ります。
- 空き家や空き地など低未利用地の適切な土地利用による定住の促進を図ります。
- 市街地の主要な幹線道路の沿道(沿道活用地区)では、日常生活に必要な施設の立地を誘導します。
- 無秩序な市街地の拡大を抑制することにより、農業環境保全活用地区に広がる農地や自然環境共存地区の緑豊かな里山を保全します。



▲ひがし茶屋街

市街地基盤づくり

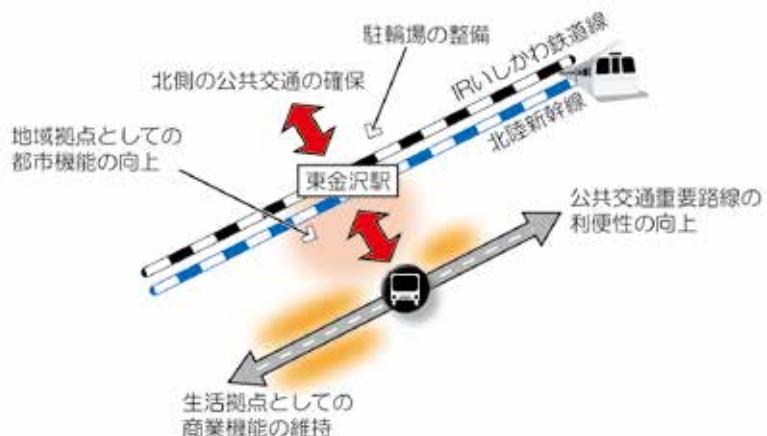


▲東金沢駅

- 地域拠点の東金沢駅周辺では、交通結節点としての利便性を活かして、様々な交流と賑わいを創出する都市機能の誘導を図ります。
- 生活拠点では、商店街の空き店舗対策などにより、地域住民が日常的に必要な買い物ができる商業機能を維持し、生活利便性の確保を図ります。
- 木造住宅密集地では、住環境の改善や防災機能の向上を図る取組を推進します。

交通体系づくり

- 中島大橋(都市計画道路鳴和三日市線)の架替を着実に進め、都市内交通の円滑化を図ります。
- 外環状道路(海側幹線)の整備を着実に進めることで、都市内道路ネットワークの構築と緊急輸送道路機能の強化を図ります。
- 公共交通ネットワークの充実に向け、公共交通重要路線を中心に利便性向上を図るとともに、日常生活に必要な地域住民による移動手段の確保を促進します。
- 東金沢駅では、パーク・アンド・ライド駐車場の利用を促進するとともに、乗り継ぎ環境の向上などにより、交通結節機能の強化を図ります。
- 公共交通重要路線沿線を中心にパーク・アンド・ライドを推進するとともに、バス専用レーンの拡充などによる利用環境の向上を図ることで、マイカーから公共交通への利用転換を推進します。



▲公共交通の利便性を活かしたまちづくりイメージ

- 自転車走行指導帯などの自転車通行空間の整備により、走行環境の安全性向上や利用促進を図ります。

憩いの場づくり

- 夕日寺健民自然園は、適切な維持管理を進め、緑豊かな自然と触れ合う空間として利用促進を図ります。
- 地域内の公園緑地は、地域住民、事業者、行政などの様々な主体が連携した維持管理などを推進することで、身近な憩いの場として継承していきます。

農林基盤づくり

- 田園地域・中山間地域では、農林業を支える集落環境の維持や再生につながる取組を進めます。
- 住宅地と里山が隣接する地区では、野生動物との遭遇事故を未然に防ぐ総合施策を展開します。

自然と歴史を活かした景観づくり

- 卯辰山丘陵の斜面緑地や東部丘陵などは、良好な住宅地の背景として自然環境を保全します。
- 東山ひがし地区や卯辰山麓地区の重要伝統的建造物群保存地区では、歴史的建造物の保存・整備や無電柱化の推進などにより、歴史的風致の維持・向上を図ります。
- ひがし茶屋街や卯辰山山麓寺院群などの歴史的街並みの保全とその周辺での適切な景観誘導により、調和のとれた地域の景観形成を図ります。
- 建築物の形態意匠や色彩などへの周辺環境に配慮した適切な景観誘導を図ることで、良好な都市景観を形成します。
- 浅野川は、水と緑に彩られた風情と趣のある川筋景観として保全するとともに、金沢の個性と魅力を高める貴重な財産として継承を図ります。
- 東インター大通りでは、沿道の屋外広告物の規制誘導や地域住民との連携による清掃活動などにより、良好な沿道景観の形成を図ります。
- 平野部に広がる田園風景の保全を図るとともに、緑豊かな自然環境と調和した里山の景観を保全します。



▲卯辰山麓重要伝統的建造物群保存地区



▲浅野川



▲東インター大通りの沿道景観

第6章 地域別のまちづくり方針

安全安心な環境づくり

- 災害発生時における中山間地域の集落の孤立化を防止するため、道路及び安全な避難場所の確保を図るとともに、情報通信システムなどの活用により、防災性の向上を図ります。
- 地域内の土砂災害警戒区域などにおいて、土砂災害防止対策を推進します。
- 浅野川、金腐川などの河川や内水を適切に管理し、必要な整備を図ることにより、水害に強いまちづくりを推進します。
- 緊急時の避難路の確保など地域の防災性を高めるため、建築物の耐震化を積極的に促します。

生活基盤づくり



▲城北水質管理センター

- 城北水質管理センターや東部環境エネルギーセンターなど供給処理施設の更新などを計画的に実施し、ライフサイクルコストの低減を図ります。
- 上下水道、ガスは、定期的な点検などのほか、地域住民・町会・事業者などからの通報などの様々な協働により、不良箇所の早期発見と迅速な対応に努めます。

市民生活を支える施設づくり

- 高齢者福祉や子育て支援をはじめとする公共施設の計画的な整備・更新を行い、施設の安全性の確保や快適な市民サービスの提供を図ります。

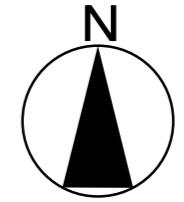
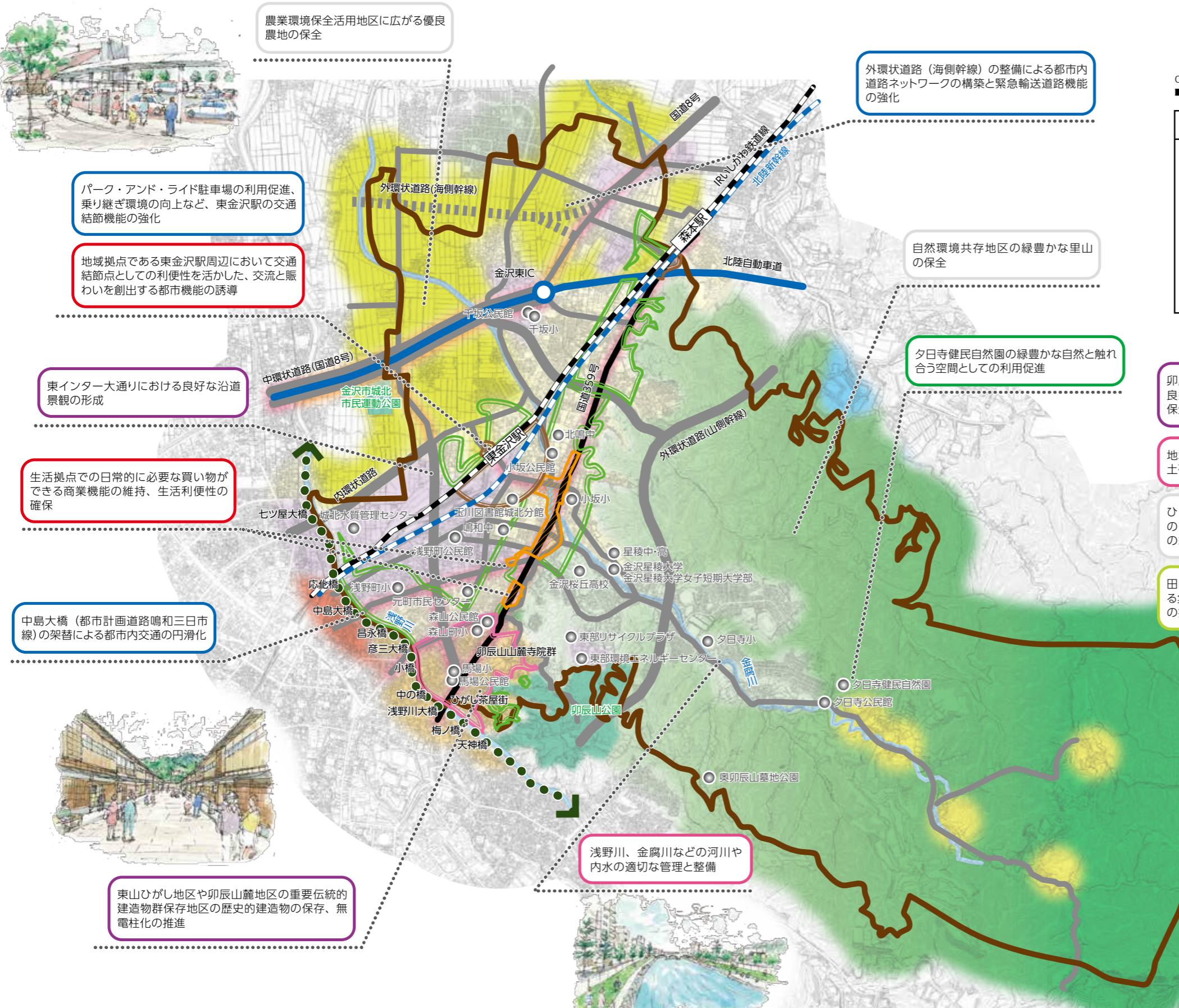
市民参加・協働のまちづくり方針



▲まちづくり協定締結（東山大通り地区）

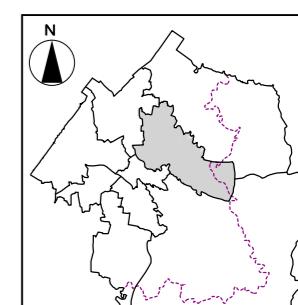
- まちづくり計画の作成への積極的な支援を行い、市民協働のまちづくりを実現します。
- 町会加入率向上や地域活動への参加促進など地域コミュニティの醸成を図るとともに、まちづくりの担い手の育成と多様な市民活動、組織への支援を推進します。
- 地域の活性化に向けた活動など、地域住民が主体となった取組への支援を行いながら、市民協働によるまちづくりを推進します。

『田園や里山の自然に抱かれた良好な住宅地と歴史的な街並みが調和するまち』



0 500 1000 1500 2000m

凡例(図面)	
【土地利用区分】	
中心市街地地区	○
住宅専用地区	○
一般住宅地区	○
中心商業・業務地区	○
生産機能地区	○
産業地区	○
沿道活用地区(市街地)	○
沿道活用地区(市街地以外)	○
農業環境保全活用地区	○
自然環境共存地区	○
【方針】	
土地利用の方針	○
市街地基盤づくり	○
交通体系づくり	○
憩いの場づくり	○
農林基盤づくり	○
自然と歴史を活かした景観づくり	○
安全安心な環境づくり	○
【その他】	
中山間地域集落	○
主な公園緑地	○
緑のネットワーク	○
環状道路	○
主な道路	○
主な施設	○
地域界	○
【公共交通重要路線】	
バス路線	—
鉄道(JRいしかわ鉄道線)	—
【集約都市形成計画】	
居住誘導区域	○
都市機能誘導区域(都心拠点)	○
都市機能誘導区域(地域拠点)	○
生活拠点	○



3. 城北地域

校下(地区)名：馬場・浅野町・森山・小坂・千坂・夕日寺